

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106104 - 01040

京都府南丹市  
作成日: 平成21年05月01日

事業名	畜産振興事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等			所管部署名等
細事業名	畜産振興推進事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体			農林商工部 農政課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業    政策体系CD: 233 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input type="checkbox"/> その他 ( )			
		関連法令・条例等	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律、南丹市酪農・肉用牛生産近代化計画			

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
第2章3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる  
南丹ブランド生産者等への支援として、経営安定のための支援に加え、環境改善や安全・安心の畜産物の生産を推進する。
- ②事業を実施する必要性  
酪農・肉用牛の生産に関する近代化計画の目標達成に向け、巡回指導、調査活動、啓発活動を行うことは南丹ブランドの推進、畜産環境問題の改善等に必要である。
- ③未実施事項  
特に無し
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
第4章5 未来を担う人づくりを進める  
＝ 産業を担う人材育成のための支援として、酪農・肉用牛の生産に関する近代化計画に基づき、畜産の振興を図る。

## 【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
財源内訳	決算額または計画額	千円	416	311	323	323	323
	うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	208	155	160	160	160
内訳	地方債	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	208	156	163	163	163
職員等従事人員		人/年	—	—	0.15		
人件費		千円	—	—	748		
事業費総額		千円	—	—	1,071		

## 【主な支出の内訳】

巡回指導 40千円 (需用費)  
 調査活動 250千円 (旅費、需用費)  
 啓発活動 30千円 (需用費、役務費)

## 【近隣市町村の取り組み状況】

京都府の補助事業であり、亀岡市でも実施されている。

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

※前年事業評価なし

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
畜産農家の動向。
- ②当該事業のアピール事項  
家畜伝染病などに対応するために重要な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
畜産環境の改善。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	233	事業名	畜産振興事業			
事業CD.	106104-01040	細事業名	畜産振興推進事業			
所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当	寺田	

106104-01040

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
巡回指導	必要に応じて畜産農家への指導を実施	6～3月	酪農家 22戸 1,930頭 肉用牛飼養農家 14戸 1,660頭 養豚農家 8戸 5,545頭
調査活動	中央畜産技術研修会へ参加	7月	1名参加
	畜産に関する情報、補助事業の情報等を収集	6～3月	酪農家 22戸 1,930頭 肉用牛飼養農家 14戸 1,660頭 養豚農家 8戸 5,545頭
啓発活動	畜産に関する情報、補助事業の情報等を畜産農家に普及啓発	6～3月	酪農家 22戸 1,930頭 肉用牛飼養農家 14戸 1,660頭 養豚農家 8戸 5,545頭